

令和2年5月12日

「子どもの成長が不安な時の相談どうしていますか？」@流山

～アンケート結果から考える保護者意識と今後の働きかけ～

NPO 法人 CASE Japan

1. 目的

「どうすれば安心して子育てできるのか？」そのために必要な支援やシステムは何なのか？を知りたくアンケートを実施

2. アンケート方法

(1)対象:流山市在住で子育て中の方

(2)方法:Web アンケートを「CASE Japan HP」や「チラシ」を通して協力依頼。有志の方 100 名が実施。(2020年1月5日～3月31日)

3. 結果

アンケート協力者 100 名の上位は 40 代女性(46 名)、30 代女性(38 名)、子どもの成長が不安な時期は 5 才～小学 2 年が最も多い。不安を感じる場面要因を 3 つ、①子ども②保護者③環境面に分けると、①子ども:1位コミュニケーション、2位学習の遅れ、言語発達、3位心身面、②保護者:1位親の想い、2位負担が大きいと感じるとき、3位子どもの考え行動が理解できず対処に悩む、③環境面:1位認識の違い、2位周囲の目が痛いといった場面で不安を感じていることが分かる。そして、その不安に対し相談したが、「その時は分かったつもりでも、後で思い出せなかった」、「専門用語などが多く説明が難しかった」といった要因により安心につながらなかった。一方、その不安に対し「丁寧に話を聞いてくれた」「専門家に相談できた」その他「子どもは何も変わらないが親の捉え方が変わった」といった要因により安心につながった。何があれば安心につながるかの問いに対しては、上位は「家族の理解」、「同じ悩みを話せる場所」、「相談に関して必要な場所や機関をコーディネート」。また、その他の多くが「経験者の話を聞く」となった。更に、子育て支援を知らなかった理由の上位は「転入してきたばかり」「情報があちこちにちらばりすぎてわかりにくい」となった。

※詳細は子育て発達支援・システムアンケート@流山をご覧ください。

4. 考察と今後働きかけ

これらの結果から、安心につながるためにポイントが3つあると考えました。

①相談MAP・・・流山市の子育て支援をご存じない方で、知らなかった理由として「わかりにくい」との意見が多かったため。

②相談シート・・・安心につながらなかった上位が、口頭のみ話し合いによる結果と考えられる。また、安心につながる1位「家族の理解」からも家族間や相談先で連携がとれ、いつでも見返せる物が必要と考えたため。

③相談フロー・・・何があれば安心につながるかの問いに対し、2位の「相談に関して必要な場所や機関をコーディネート」とある。しかし、予算がかかることを待つより今できることを考え、今まで相談した方の相談フロー事例が参考になると考えたため。